



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

生涯学習センター 公開講座のご案内

夢が



大阪公立大学書道部

2023年度
4月－9月



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

大阪公立大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

大阪公立大学 生涯学習・公開講座Webサイト
<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/>



ごあいさつ

生涯学習としての公開講座

2022年4月、大阪府立大学と大阪市立大学は統合して大阪公立大学となりました。両大学の「知」が結集することで、より充実した公開講座をお届けできるようになると自負しています。目まぐるしく変わる現代社会のさまざまな現象や科学技術などの最新の情報をわかりやすく伝えるもの、また一方でそのような変化の中でも変わらない人間の本質を見究めようとするものなど、常に学問における「不易と流行」を意識しつつ、企画を考えていきたいと思っています。また本学では「学び」が継続できる環境を整えていく予定です。この公開講座は、まさに「生涯学習」への入口の役割を果たすことになります。みなさまの積極的なご参加をお待ちしています。



生涯学習センター長
西田 正宏

生涯
学習



安心安全に受講していただくための対策とお願い



- ・常時空調運転による**換気を実施**しています。
- ・**定員を半分以下に設定**し、座席間の距離を保っています。
- ・講座の前後に教室内、施設内を**消毒**しています。



- ・ご来場の際及び受講中は**マスクを着用**してください。
- ・入場時に**検温と体調に関するアンケート**を実施します。
- ・発熱や体調不良のある方は、参加をお控えください。
- ・入室、退室時の**手指消毒**にご協力ください。
- ・会場では**人と人との距離の確保**にご協力ください。

受講に際しての注意事項

- ・受講生本人以外の代理出席、同伴、見学はできません。
- ・駐車スペースはありません。公共交通機関をご利用ください。
- ・受講に際し、障がい等を理由としてなんらかの配慮が必要な場合は事前にご相談ください。
- ・講義中、講師や他の受講生に迷惑になるような行為、その他本学が講座運営上不適切と判断する行為があった場合は、受講資格を取り消すことがあります。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響等やむを得ない事情により、日程、講座内容、講座形式や会場を変更して開講する場合があります。
- ・上記のほか、受講にあたってのご案内・注意事項はP14～15をご覧ください。

Meet 学問に出会う

難易度 ★（初心者歓迎）

■ 沖縄学ことはじめ							P3
開催日	4/18～6/20	定員	60名	受講料	7,000円（全10回分）	I-siteなんば	人文
■ みんなで学ぼう薬の基礎知識							P4
開催日	4/22～5/27	定員	60名	受講料	5,000円（全5回分）	I-siteなんば	ライフサイエンス
■ 運動実践型ヘルス・イノベーション・ラボ ウォーキング編							P5
開催日	5/10～6/28	定員	40名	受講料	6,000円（全8回分）	中百舌鳥キャンパス	生活・健康
■ ヴィクトリア朝ロンドンにおける慈善活動と淑女たち							P5
開催日	7/4	定員	40名	受講料	1,000円（全1回）	杉本キャンパス	人文
■ モードを通して読み解くフランス文学							P6
開催日	5/17～7/19	定員	60名	受講料	7,000円（全10回分）	I-siteなんば	人文
■ 人類と感染症との戦い							P7
開催日	5/20～7/22	定員	60名	受講料	5,000円（全6回分）	I-siteなんば	横断
■ 公大講座（第1部）							P8
開催日	7/10～7/31	定員	60名	受講料	3,000円（全3回分）	I-siteなんば	横断
■ 講談の成立とその魅力 ― 上方芸能講座 講談編 ―							P8
開催日	8/30、8/31	定員	60名	受講料	2,000円（全2回分）	I-siteなんば	人文
■ 公大講座（第2部）							P9
開催日	9/7～9/21	定員	60名	受講料	3,000円（全3回分）	I-siteなんば	横断

Enrich 学問を深める

難易度 ★★（要基礎知識）～★★★★（専門職向け）

■ 韓国語講座 初中級編Ⅱ					P11		
開催日	4/8～1/6	定員	24名	受講料	20,000円（全25回分）	I-siteなんば	人文
■ 学校コラボレーション講座（仮題）					P12		
開催日		定員		受講料	※企画中	未 定	人文

公開講座の会場

※地図は本冊子P16をご覧ください。

公開講座のカテゴリー

※各講座のページ右上に表示しています。

人文（哲学、歴史、教育、心理、言語、文学、芸術、文化 など） 社会（経営、経済、法学、政治、都市防災 など）
IT（情報、通信、人工知能 など） 理工（数学、自然科学、工学 など） ライフサイエンス（生物、農学、獣医学 など）
生活・健康（医学、看護、福祉、栄養、居住、スポーツ など） 横断（分野横断） その他

Meet

学問に出会う

受付開始
2月中旬

沖縄学ことはじめ

人文

日時：4月18日(火)～6月20日(火) 14:30-16:00 各火曜日・全10回

定員：60名 受講料：7,000円(全10回分)

Webページ公開・申込受付開始：2月中旬～

I-siteなんば

講義概要

現代の日本国において沖縄県は、面積約2281平方キロメートルと、香川・大阪・東京に次ぐ4番目に小さな県に過ぎません。しかし、その歴史や文化に思いを馳せると、沖縄以外の日本全体と、1対1の比重で学ぶべき価値を有するとも言えます。近現代に日本の版図に組み込まれるまで、南海の独立王国＝琉球として独自の歩みを続けてきた沖縄は、「日本」というものの内実を考える際に、相対化・客観化の視座を与えてくれる貴重な地域でもあります。この講座では、学校教育の場ではあまり学ぶ機会のなかった、沖縄の歴史や文化について、色々なことを知る契機を提供して、共に学ぶ機会としたいと考えています。

講師 田中 宗博(大阪府立大学 名誉教授)



講義スケジュール

第1回 4月18日(火)	沖縄の歴史概観 ―中継貿易で栄えた南海の王国の光と影― かつて東アジア社会の中で、海洋貿易国家として独自の歩みを遂げた琉球国。その地政学的条件を考え、「琉球処分」以前の琉球国の歴史について学びます。
第2回 4月25日(火)	東アジア国際社会の中での沖縄 ―泡盛・三線・亀甲墓等をめぐって― 日本における沖縄文化の独自性は、対外交渉の中で形成された一面があります。その端的な事例として、蒸留酒泡盛・蛇皮の楽器三線・独自の墓制に即して学びます。
第3回 5月2日(火)	沖縄の霊魂観とノロ文化 ―マブイを落とす、マブイを込める― 沖縄の基層文化にみる霊魂観は、日本本土と共通しつつ独自なものがあります。時に身体から離脱するとされるマブイ(＝魂)に関わる心意・伝承について学びます。
第4回 5月9日(火)	沖縄の古歌謡 ―『おもろさうし』の世界― 16～17世紀に琉球王府で編纂された、平仮名表記の古歌謡集『おもろさうし』から、幾つかの詞章を採り上げて読解、そこに表れる当代人の世界観を考えます。
第5回 5月16日(火)	沖縄の短詩型文学「琉歌」 ―恩納ナビと吉屋チル、その他― 和歌の5 7 5 7 7 と異なり、基本 8 8 8 6 の音数律を持つ琉歌の中から、伝説的女流歌人の作品を採り上げ鑑賞、音楽との密接な関わりについても考えます。
第6回 5月23日(火)	沖縄の劇文学 ―玉城朝薫の「組踊り」創成と「執心鐘入」について― 「組踊り」は中国の外交使節歓待のため、18世紀玉城朝薫によって創始されました。その一篇、日本の道成寺縁起とも関わる「執心鐘入」を読解・鑑賞します。
第7回 5月30日(火)	沖縄の史伝と日琉同祖論 ―源為朝渡来伝承について― 薩摩の武力侵攻後の体制下、近世琉球国の史書『中山世鑑』は、王朝の始原に源為朝の渡来を語りました。そこに示される「日琉同祖論」について考えます。
第8回 6月6日(火)	糸満「白銀堂」の伝説を考える ―強者薩摩の財力と沖縄の智慧ある言葉― 借金に苦しむ糸満漁師の語った沖縄の格言が、貸し主の薩摩武士を救い、両者に和解と親和がもたらされる白銀堂伝説を、説話研究の立場から読解します。
第9回 6月13日(火)	沖縄の食文化 ―琉球王朝料理から庶民の食生活、アメリカ食の流入まで― 沖縄の食文化は、自然的・文化的環境に即した独自なものがあります。長寿県を支えた伝統的な食から現代のものまで、広く概観しつつ楽しく学びたいと思います。
第10回 6月20日(火)	オキナワンポップスの豊かな世界 ―戦後新民謡から喜納昌吉・ビギン等々― 歌の島・芸能の国とも称される沖縄で、様々な外来文化を消化・吸収しながら、多様に展開する沖縄現代音楽について、実際に曲を聞きつつ学びます。

受付開始
2月中旬

みんなで学ぼう薬の基礎知識 ～薬の歴史から研究の最前線まで～

ライフ
サイエンス

日時：4月22日(土)～5月27日(土) 15:00-16:30 各土曜日・全5回

定員：60名 受講料：5,000円(全5回分)

Webページ公開・申込受付開始：2月中旬～

I-siteなんば

講義概要

中世におけるコレラやペストの大流行を考えると、人類の歩みは病原微生物との生存をかけた戦いであったといっても過言ではないでしょう。こうした病気の大部分は、現在では、新しく開発された薬（化学療法剤やワクチンなど）によって、治療・予防することが出来るようになりました。このように、新しい薬を創り出すこと、すなわち「創薬」は、人類社会に対する最も大きい貢献の一つで、日々その恩恵にあずかっています。本講座は、「創薬」の入門的内容で、くすりの歴史や、創薬と社会との関わり、また、薬ができるまでのプロセス、さらに最先端の医薬品（抗体医薬、コロナウイルス・ワクチン）についてもわかりやすく解説します。

講師 藤井 郁雄（大阪公立大学 研究推進機構 特任教授）



講義スケジュール

第1回 4月22日(土)	くすりの歴史 薬の起源は、紀元前4000年頃までさかのぼります。当時は植物が薬として使用されました。近代になると植物に含まれる有効成分のみが取り出され、利用されるようになりました。どのようにして薬が発見されてきたのか、その長い歴史について解説します。
第2回 4月29日(土)	人類史上最古のくすり：アヘンの光と影 ガン疼痛治療法として用いられる「モルヒネ」は、近代に生まれた薬のひとつです。1804年にアヘンに含まれる有効成分として取り出されたモルヒネには、多幸感を感じさせる、いわゆる麻薬としての側面もあります。そこで、サイエンスの立場からアヘンの光と影（功罪）について、考えてみましょう。また、他の違法薬物についても解説します。
第3回 5月13日(土)	新しいくすりが開発されるまで 日本では、ひとつの薬ができるまでに、9～17年もの歳月を要します。その間にかかる費用は約500億円といわれています。新薬の開発成功率は約3万分の1とも言われ、ほとんどの候補物質は途中の段階で断念されています。新薬開発のプロセスとその問題点について解説します。
第4回 5月20日(土)	生体防御の最終兵器：免疫と抗体 無数のバクテリアやウイルスに囲まれている私たちがそう簡単に病気にならないのは、免疫による防御により、体を外敵から護っているからです。外敵を最終的に叩くのは、免疫が創り出す抗体です。コロナ・ワクチンの接種により感染防御しているのも抗体なのです。その実に巧妙なからくりをできるだけ平易に解説します。
第5回 5月27日(土)	くすりが変わった!! 抗体医薬とワクチン 科学、医学が進歩するのにともない、薬が変わってきました。近年では、インスリンやインターフェロンなどのように生体成分を利用したものが多くなってきています。バイオテクノロジーの発達により、このような薬が大量生産できるようになってきました。抗体医薬やコロナウイルス・ワクチンなど最先端の医薬品について解説します。

* 本冊子の記載内容は2023年2月1日時点の情報です。

受付開始
3月上旬

協創研究センター講座

運動実践型ヘルス・イノベーション・ラボ ウォーキング編

日時：5月10日(水)～6月28日(水) 14:00-15:10 各水曜日・全8回

定員：40名 受講料：6,000円（全8回分）

Webページ公開・申込受付開始：3月上旬～

中百舌鳥キャンパス

講義概要

「歩く」という行動は、地面からの反力を移動したい方向への推進力とすることで可能となります。普段、何気なく行っている「歩く」ことをエクササイズとして行うことで、心肺機能や下肢筋力を高めることができます。また、脂質代謝（脂肪燃焼）を促進させる効果もあるため、体脂肪量の減少や生活習慣病の抑制にも繋がります。本講座では、脂質代謝（脂肪燃焼）向上を目的とした運動強度ゾーンでのウォーキングエクササイズを参加者全員で行いながら、本学の測定機器をお使いいただき、ご自身にあった運動習慣を分析いただきます。

講師 川端 悠（大阪公立大学 スポーツプログラム開発センター長/国際基幹教育機構 准教授）

受付開始
5月中旬

ヴィクトリア朝ロンドンにおける 慈善活動と淑女たち

人文

日時：7月4日(火) 13:15-14:45

定員：40名 受講料：1,000円

Webページ公開・申込受付開始：5月中旬～

杉本キャンパス

講義概要

ヴィクトリア朝の小説には、慈善活動に勤しむ未婚の若い淑女たちが多く描かれます。その背景には、現実の女性たちによる慈善活動があります。それは世紀末になるにつれて強まり、特にロンドンの貧民街イースト・エンドへと彼女たちは惹きつけられます。彼女たちを駆り立てたのは何だったのでしょうか。一義的には憐れみや罪の意識が考えられますが、それだけではないのではないのでしょうか。本講座ではそれを、現実の、及びフィクション上の女性たちの活動に探ってゆきます。

講師 田中 孝信（大阪公立大学 文学研究科 教授）



* 感染症の流行や自然災害等の影響により、日程・開催方法・講座内容等が変更となる場合があります。

* 本冊子に掲載していない講座もあります。

* 各講座の詳細および申込ページは、順次Webサイトに公開されます。

（開講日の1～2か月前に公開・申込開始を予定しております）

大阪公立大学 生涯学習・公開講座WebサイトURL

<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/>

受付開始
3月中旬

モードを通して読み解くフランス文学

人文

日時：5月17日(水)～7月19日(水) 14:30-16:00 各水曜日・全10回

定員：60名 受講料：7,000円(全10回分)

Webページ公開・申込受付開始：3月中旬～

I-siteなんば

講義概要

フランスは、ルイ14世時代から「文化の中心」となり、パリは「モードの首都」として現在も威光を放っています。文学において服装が詳細に描写されるようになるのは19世紀になってからで、「近代小説の祖」と称されるバルザック以降となります。バルザックは服装を職業・生活・思想・性格を表す記号とみなして小説に反映させ、次に続く作家たちもそれに倣いました。本講座では、服装を手がかりに19世紀フランス文学を読み解いていきます。

講師 村田 京子（大阪府立大学 名誉教授）



講義スケジュール

第1回

5月17日(水)

バルザック『ふくろう党』—フランス革命とモード—

フランス革命を扱った歴史小説『ふくろう党』を取り上げ、王党派貴族、農民、共和派軍人、美貌の女スパイの服装に焦点を当てて、小説を読み解いていきます。

第2回

5月24日(水)

ジョルジュ・サンド『アンディヤナ』—変装する女性—

女主人公と幼馴染の女性が一人の青年をめぐる、互いに相手と入れ替わるために変装する場面があります。変装がどのような結果をもたらしたのか、考察していきます。

第3回

5月31日(水)

バルザック『幻滅』—ダンディへの変貌—

地方からパリに出てきた美青年が、ダンディに変貌していく過程を探ると同時に、バルザックにおけるダンディズムを分析します。また、地方の女性が同様にパリに出て洗練されていく過程を、バルザックのエレガンス論に基づいて考察します。

第4回

6月7日(水)

バルザック『骨董室』『カディニャン公妃の秘密』

—ロマン主義時代の「モードの女王」—

エレガンスの奥義を知り尽くした「モードの女王」が、服装の記号をいかに駆使し、どのような女性を演じたのか、探っていきます。

第6回

6月21日(水)

ゾラ『獲物の分け前』—「パリ人形」としての「モードの女王」—

19世紀後半の第二帝政期を舞台にしたゾラの『獲物の分け前』において、「モードの女王」として社交界に君臨した女主人公の人生を辿ります（オートクチュールの世界が描かれています）。

第7回

6月28日(水)

第8回

7月5日(水)

ゴンクール『シェリ』—第二帝政期の社交界の若い娘—

女主人公の少女時代から19歳の若さで死ぬまでの成長過程を、服装を通して辿っていきます。

第9回

7月12日(水)

ゾラ『ボヌール・デ・ダム百貨店』(1)—デパートの誕生—

『ボヌール・デ・ダム百貨店』は、世界初のデパート「ボン・マルシェ」をモデルとした小説で、作品を通して女性客を惹きつけたデパートの販売戦略や、その実態を探っていきます。

第10回

7月19日(水)

ゾラ『ボヌール・デ・ダム百貨店』(2)—「頭のないマネキン人形」—

ボヌール・デ・ダムの既製服売り場にある、最新流行の衣装を纏ったマネキン人形には頭がなく、頭の代わりに値札が貼り付けられていました。それが何を意味するのか、考察します。

受付開始
3月中旬

人類と感染症との戦い

横断

～大阪国際感染症研究センターからの最新レポート～

日時：5月20日(土)～7月22日(土) 10:30-12:00 各土曜日・全6回

定員：60名 受講料：5,000円（全6回分）

Webページ公開・申込受付開始：3月中旬～

I-siteなんば

講義概要

新型コロナウイルス感染症の出現により、私たちの生活は一変し、その影響はいまだ続いています。地球上には新型コロナウイルス感染症だけでなく、様々な感染症も存在し、我々人類は時としてその脅威にさらされることがあります。この状況下、わたしたちはどのように感染症に向き合えばいいのでしょうか。本講座では、感染症について正しい知識をわかりやすく説明いたします。

講義スケジュール



新型コロナが私達にもたらした影響 ～これからの感染症研究への期待

第1回
5月20日(土)

新型コロナが興って3年が経過しました。ワクチンや治療薬の開発により、対処法も整いつつありますが、私達にもたらした影響は未解決です。本講義では未知の微生物と対峙したこれまでを振り返り、新たな感染症への備えを考えます。

講師：掛屋 弘（大阪国際感染症研究センター・大阪公立大学 医学研究科 教授）

ナノテクノロジーからの挑戦

第2回
5月27日(土)

見えない敵は脅威であり不安感を増幅させます。敵から身を守ったり、退治したりするためには、まずは見えない敵を見える化することが重要です。微生物を見るための新しい手法に関する取り組みを紹介します。

講師：椎木 弘（大阪公立大学 工学研究科 教授）

健康・医療情報ニーズに関する実証分析と健康・医療情報の収集源の違いが感染予防行動に与える影響

第3回
6月10日(土)

コロナ禍で健康・医療への社会の関心が高まる中、人々はどうのように健康・医療情報ニーズを持って情報収集をしているのでしょうか。また、健康・医療情報の収集源の違いは、ワクチン接種に対する意向など、私たちの感染予防行動にどのような影響を与えるのでしょうか。実際の調査から明らかにした研究結果を分かりやすく報告します。

講師：牛 氷（大阪公立大学 経済学研究科 准教授）

コロナ禍と食の安全 ―感染性食中毒を中心に―

第4回
6月24日(土)

地球規模のパンデミックは人々の食習慣を大きく変え、食の安全のあり方も大きく変化しました。コロナ禍は食の安全にどのような影響を与え、これから私たちは何に注意をする必要があるのか、具体例をいくつか取り上げ紹介します。

講師：三宅 眞実（大阪公立大学 獣医学研究科 教授）

大阪からマラリア根絶への挑戦

第5回
7月8日(土)

人類最古の感染症であるマラリアは、今なお貧困を背景に熱帯諸国に蔓延しています。COVID-19はそこに新たな局面を生み出しました。バヌアツとケニアのマラリア流行地を紹介しつつ、感染症制圧の条件を問います。

講師：金子 明（大阪国際感染症研究センター・大阪公立大学 医学研究科 特任教授）

感染症との付き合い方

第6回
7月22日(土)

新型コロナウイルス感染症以外にも感染症はたくさんあります。本講義では、現場で効果的に感染症対策を行う医療スタッフの対応法を紹介します。プロの対策を知って日常生活で感染症から身を守る方法を身につけましょう。

講師：朝野 和典（大阪国際感染症研究センター・地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所 理事長）

* 感染症の流行や自然災害等の影響により、日程・開催方法・講座内容等が変更となる場合があります。

受付開始
5月中旬

公大講座（第1部）

横断

日時：7月10日(月)、7月24日(月)、7月31日(月) 14:00-15:30 各月曜日・全3回

定員：60名 受講料：3,000円（全3回分）

Webページ公開・申込受付開始：5月中旬～

I-siteなんば

講義概要

大阪公立大学の研究者が自身の教育研究内容の一端を紹介し、受講者の方々にさまざまな専門分野について学んでいただくことを目的に開催します。



講義スケジュール

第1回 7月10日(月)	発達障がいをもつ子どもへの支援 —ペアレントトレーニングを通して— 本講義では、①発達障がい、または発達に課題のある子どもたちへの理解について、②彼らが自分らしく、より良い成長ができるよう、周りで関わる保護者や支援者ができる工夫をペアレントトレーニングを通して、お話したいと思います。 講師：奥野 裕子（大阪公立大学 看護学研究科 准教授）
第2回 7月24日(月)	光学屋が取り組むレーザー加工 レーザー加工はレーザー装置を使うので、光技術の応用でもあります。しかし、現実にはレーザー加工の研究者と光学の研究者は異なっています。レーザー加工が素人同然の光学屋が考えるレーザー加工について自身の研究を例に紹介します。 講師：菊田 久雄（大阪公立大学 工学研究科 教授）
第3回 7月31日(月)	ウクライナ戦争と国際秩序の動揺 —東アジアの視点から— 2022年2月にロシアがウクライナに軍事侵攻を始めてから、約1年が過ぎました。戦争終息の兆しは見え、エネルギー価格上昇、核危機など影響は深刻です。なぜウクライナ戦争が生じたのか、それは東アジアにどのような影響を与えるのか、考えてみたいと思います。 講師：永井 史男（大阪公立大学 法学研究科 教授）

受付開始
6月下旬

講談の成立とその魅力－上方芸能講座 講談編－

人文

日時：8月30日(水)、8月31日(木) 18:00-19:30 全2回

定員：60名 受講料：2,000円（全2回分）

Webページ公開・申込受付開始：6月下旬～

I-siteなんば

講義概要

旧大阪府立大学では上方芸能に関する入門的な講座を開催してきました。コロナ禍、また大学統合を経て、大阪公立大学として、新たなスタートを切ることになり、改めて同種の講座を復活させます。まずは「講談編」。口演も含め、講談の魅力とその成立について、お二人の講師にお話しいただきます。

講師 旭堂 南海（講談師）
高橋 圭一（大阪大谷大学 名誉教授）

コーディネーター 西田 正宏（大阪公立大学 副学長/生涯学習センター長）



受付開始
7月中旬

公大講座（第2部）

横断

日時：9月7日(木)、9月14日(木)、9月21日(木) 各木曜日・全3回
(第1回・第2回) 14:00-15:30、(第3回) 10:30-12:00

定員：60名 受講料：3,000円（全3回分）

Webページ公開・申込受付開始：7月中旬～

I-siteなんば

講義概要

大阪公立大学の研究者が自身の教育研究内容の一端を紹介し、受講者の方々にさまざまな専門分野について学んでいただくことを目的に開催します。

講義スケジュール



第1回
9月7日(木)
14:00-15:30

高分子の光分解 —全うする化学を目指して—

身の回りにあふれているプラスチック材料は、高分子からできています。高分子の光分解は、リサイクルにも有用な技術です。本講義ではプラスチックの基礎をわかりやすく解説すると共に、最近手掛けている光分解技術を紹介します。

講師：陶山 寛志（大阪公立大学 国際基幹教育機構 教授）

第2回
9月14日(木)
14:00-15:30

少子社会・日本における「愛」のゆくえ

「少子化」が社会問題として認識され始めて半世紀を経ました。「少子化を止めなければならない」という国民的合意が成立しているにもかかわらず、子どもは減り続けています。子どもをめぐる「愛」の変容に注目しながら、「減り続ける子ども」の背景を読み解いていきたいと思っています。

講師：吉田 直哉（大阪公立大学 現代システム科学研究科 准教授）

第3回
9月21日(木)
10:30-12:00

認知症を予防し健康的な生活を維持するためにできること —生活リズムの観点から—

日々の生活の中で活動と睡眠など、生活リズムの観点からの認知症予防は注目を集めています。生活リズムを安定させることは、認知症を含めた様々な病気を予防するなどメリットが多くあります。本講義では参加者の皆様の生活リズムをともに振り返り、よりよい健康的な生活とは何かを考えてみたいと思います。

講師：田中 寛之（大阪公立大学 リハビリテーション学研究科 講師）

※「公大講座（第3部）」は、11月の開催を予定しています（申込受付：9月中旬～）。

第1回
11月9日(木)
10:30-12:00

食の安全って何？ —正しい考え方を知ろう—

講師：三宅 眞実（大阪公立大学 獣医学研究科 教授）

第2回
11月16日(木)
10:30-12:00

ドイツ・ユダヤ人の歴史 —迫害と迫害のはざままで—

講師：佐々木 博光（大阪公立大学 国際基幹教育機構 准教授）

第3回
11月20日(月)
10:30-12:00

画像認識・画像解析について —画像から得られる情報をどう使うのか—

講師：泉 正夫（大阪公立大学 情報学研究科・現代システム科学域 教授）

第4回
11月27日(月)
10:30-12:00

ダニやカビだけではない —ハウスダストに含まれる多様なアレルゲン—

講師：石橋 宰（大阪公立大学 農学研究科 准教授）

* 感染症の流行や自然災害等の影響により、日程・開催方法・講座内容等が変更となる場合があります。

Enrich

学問を深める



受付開始
2月中旬

韓国語講座 初中級編Ⅱ

人文

難易度 ★★ (要基礎知識)

日時：4月8日(土)～1月6日(土) 13:00-14:30 各土曜日・全25回
対象者：連体形を勉強した経験のある方 定員：24名 受講料：20,000円
Webページ公開・申込受付開始：2月中旬～

I-siteなんば

講義概要

本講座は、初級を終え初中級レベルに伸び悩んでいる方々を対象に、日常生活における様々な場面を取り入れ、より実践的な語学力を身につけることを目指します。皆さん、一緒にチャレンジしてみませんか。

講師：河 正一（大阪公立大学 国際基幹教育機構 准教授）
趙 智英（同志社大学 学習支援・教育開発センター 助教）



講義スケジュール

第1回 4月8日(土)	現在連体形のまとめ	第14回 9月23日(土)	지 말다 / 마세요, ㄹ까 / 을까 하다
第2回 4月15日(土)	過去連体形のまとめ	第15回 9月30日(土)	総合練習 (쓰기, 말하기, 듣기, 읽기)
第3回 4月22日(土)	未来連体形, ㄹ/을 때	第16回 10月7日(土)	ㄴ 変則用言, 아지다 / 어지다
第4回 5月13日(土)	ㄹ 語幹用言, ㄹ / 을 수 있다 / 없다	第17回 10月14日(土)	기 때문에, 거나
第5回 5月27日(土)	니까/으니까, 아야 / 어야 하다 / 되다	第18回 10月21日(土)	総合練習 (쓰기, 말하기, 듣기, 읽기)
第6回 6月10日(土)	総合練習 (쓰기, 말하기, 듣기, 읽기)	第19回 11月11日(土)	ㄷ 変則用言, 못/語幹 + 지 못하다
第7回 6月17日(土)	으 変則用言, 아도 / 어도	第20回 11月18日(土)	기 전에, ㄴ / 은 후에, 기로 하다
第8回 6月24日(土)	아도 / 어도 되다, 면 / 으면 되다 / 안 되다	第21回 11月25日(土)	総合練習 (쓰기, 말하기, 듣기, 읽기)
第9回 7月8日(土)	総合練習 (쓰기, 말하기, 듣기, 읽기)	第22回 12月9日(土)	ㅎ 変則用言, 면서 / 으면서
第10回 7月15日(土)	ㅂ 変則用言, ㄴ / 은 지	第23回 12月16日(土)	도록, 아 / 어 버리다
第11回 7月22日(土)	ㄴ / 은 / 는 편이다, 네요	第24回 12月23日(土)	総合練習 (쓰기, 말하기, 듣기, 읽기)
第12回 8月5日(土)	総合練習 (쓰기, 말하기, 듣기, 읽기)	第25回 1月6日(土)	総まとめ：これまでの学習成果を確認するテストを行います。
第13回 9月9日(土)	ㄹ 変則用言, 게 (되다)		

* 感染症の流行や自然災害等の影響により、日程・開催方法・講座内容等が変更となる場合があります。

受付開始
未定

学校コラボレーション講座（仮題）

人文

難易度 ★★★（要基礎知識）

※詳細が決まり次第、Webサイトでご案内いたします。

オンライン講座の受講方法

1. オンライン講座について

本学では、パソコン、タブレット、スマートフォンなどを使用して、ご自宅などのお好きな場所からYouTube、Zoom等にて視聴（受講）いただけるオンライン講座を開講しております。

リアルタイムで実施（配信）するライブ配信や、録画した動画を配信し期間内であれば何度でも視聴することができるオンデマンド配信の講座がございます。配信の方法は講座によって異なりますので、詳細は各講座の案内をご確認ください。

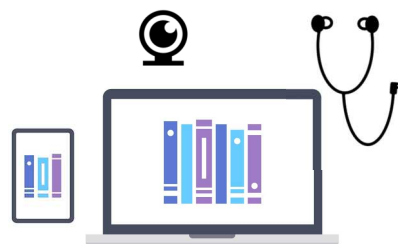


2. 視聴環境等の事前準備

以下のご準備をお願いいたします。

パソコン（推奨）、タブレット、スマートフォン等の視聴用の端末1台

ライブ配信の場合、カメラ・マイク・スピーカーが搭載されたものが必要です。未搭載の端末の場合は、外付けのWebカメラやヘッドセット等が必要です。※スマートフォンでもご受講いただけますが、画面の大きさや機能等に制限がございますので、パソコンでの視聴を推奨いたします。



安定したインターネット環境

ご自宅など、受講する環境で利用できるインターネット環境をご準備ください。

スマートフォンなどのモバイル通信を使用される場合、ご契約プランによっては通信量が膨大になり、高額な通信費用が発生する場合がございます。必ずご自身のご契約内容をご確認の上ご使用いただきますようお願いいたします。視聴にかかる通信費等は受講される方のご負担となります。

使用する端末へのZoomアプリケーションのインストール（Zoomを使用する講座の場合）

使用予定の端末にZoomアプリをインストールしてください。

<https://zoom.us/download> 左のURLからZoomアプリのダウンロードページへ移動します。

パソコンの場合はブラウザからでも使用できますが、機能に制限もがございますので、より簡単にご受講いただくためにもZoomアプリのインストールを推奨いたします。

初めてZoomを使用される場合は事前にご自身で接続テストをお願いいたします。

<https://zoom.us/test> 左のURLからZoomアプリの接続テストのページへ移動します。

Zoomアプリは頻繁にアップデートされていますので、インストール後はご受講の前に、最新版にバージョンアップして受講いただきますようお願いいたします。



3. 受講の流れ（Zoomを使用する講座の場合）※講座によって手順が異なる場合がございますのでご注意ください。

受講確定後にお送りするメールの案内に従い、期日までに①受講料のお支払い、②Zoom（ミーティング、ウェビナー等）の事前登録をお済ませください。

上記①及び②の両方の手続きが確認できた方に対して、Zoomの詳細メールをお送りします。

また、資料がある場合は、Web掲載または郵送を行います。

講座当日、Zoomの詳細メールに記載のリンク等から参加してください。入室可能時刻はメールに記載しています。

1台の端末から受講いただくとともに、発言時以外はマイクをミュートにしてご参加いただくようお願いいたします。

お申し込み方法について

以下は大阪公立大学生涯学習センターで実施する公開講座の一般的な受講の流れです。講座によって異なる場合がございますので、受講料のお支払い方法や注意事項については、各講座の詳細ページ及び受講案内を必ずご確認ください。

講座内容を確認

下のURLまたは二次元コードから「大阪公立大学 生涯学習・公開講座Webサイト」にアクセスし、各講座の内容をよくお確かめの上お申し込みください。

大阪公立大学 生涯学習・公開講座WebサイトURL

<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/>



※本冊子に掲載していない講座もあります。
※各講座の詳細および申込ページは、順次Webサイトに公開されます。
(開講日の1～2か月前に公開・申込開始を予定しております)

お申し込み

開講日の1～2か月前から申込受付を始めます。



Webサイトからのお申し込み

各講座の詳細ページ「申し込む」ボタンから申込フォームへアクセスし、必要事項をご入力の上送信してください。

受付完了通知メールが届きますが、受講決定通知ではありません。



往復はがきによるお申し込み

往復はがきの往信用文面に必要事項をご記入の上お送りください。

※講座によりはがきでのお申し込みが不可の場合や記入する内容が異なる場合がございます。詳細は各講座のチラシまたはWebページの申込方法を必ずご確認ください。

受講案内を受け取る

申込締切後、大学から受講案内メールをお送りします。

申込締切後、大学から受講案内はがきをお送りします。

※応募者多数の場合は抽選の結果をお送りします。後日キャンセルが出た場合は、選に漏れた方の中から再抽選のうえ、繰り上げ当選のご案内をする場合があります。

個人情報について：

お申し込みの際の個人情報は、申し込み後の事務連絡、統計資料等の作成及び本学公開講座のご案内に使用いたします。利用目的以外の使用については、一切いたしません。

受講準備

対面講座

開講日までお待ちください。

受付で受講料をお支払いください。

※連続講座の場合は初回受講時に全回分をお支払いいただきます（現金またはキャッシュレス決済）。

オンライン講座

受講案内に従い受講料をお支払いください（銀行振込またはオンライン決済）。また、インターネット環境やZoomアプリ等をご準備ください。

メールに記載のリンク等からオンライン講座に参加してください。

受講当日

※お申し込み後に受講できなくなった場合は、各講座のページまたは各講座の案内チラシに記載の問い合わせ先まで必ずご連絡ください。

受講にあたって

本学が実施する公開講座についてご案内いたします。公開講座にお申し込みいただく前に、以下の内容をよくお読みくださいますようお願いいたします。

1. 大阪公立大学公開講座のご案内

本学では学術研究の成果を公開することにより、地域社会に広く生涯学習の機会を提供することを目的として、公開講座を開催しています。

公開講座は、年齢・学歴を問わずどなたでも受講できます。対象者、受講料、開講日時など、講座ごとに受講条件が指定されていますので、Webサイト上の各講座のページ、公開講座ご案内パンフレット(半期ごと)、各講座の案内チラシなどで詳細についてご確認ください。

2. 開催形式

・対面講座

本学の施設を主な会場として受講いただきます。学外が会場となることもございます。

※自然災害等やむを得ない事情により、オンライン講座に変更となる場合がございます。

・オンライン講座

パソコン、タブレット、スマートフォンなどを使用して、好きな場所からYouTube、Zoom等にて視聴(受講)いただきます。

※パソコン、タブレット、スマートフォンなどの視聴用の端末及びYouTube、Zoom等を視聴できるインターネット環境が必要です。

※視聴にかかる通信費等は受講される方のご負担となります。

※視聴用の端末や視聴用ソフトに関するトラブル、ご自身の通信環境等が原因の問題や障害などにつきまして、個別の対応・補償はいたしかねます。

3. お申し込み・お支払い

講座によってお申し込み方法やお支払い方法が異なります。Webサイト上の各講座のページまたは各講座の案内チラシをご確認ください。

講座の内容に応じて、受講に一定の資格・条件を付している場合があります。

講座の受講において、特別な配慮を希望される場合は、申し込み前に各講座の問い合わせ先までご相談ください。

受講料には消費税が含まれています。

お支払い方法に銀行振込が指定されている場合、振込手数料はご自身でご負担ください。

お支払い方法にオンライン決済または銀行振込が指定されている場合、支払額に過不足がないように十分にご注意ください。

4. キャンセルポリシー

講座開始前であれば、お申し込み後のキャンセルが可能です。ただし、お申し込み後に受講できなくなった場合は、各講座のページまたは各講座の案内チラシに記載の問い合わせ先まで必ずご連絡ください。

講座開始後にキャンセルされた場合、受講料の返金はありません。

ご連絡なくキャンセルが続く場合、受講をご遠慮いただく場合がございます。

5. 受講

お申し込みいただいたご本人以外の方の受講はできません。

同伴や見学は、お断りいたします。

施設内は禁煙です。飲食については各施設のルールを順守してください。

貴重品は必ず手元におき、盗難や紛失にはご注意ください。本学では責任は一切負いかねます。

会場が本学施設の場合、車両でのご来学はご遠慮いただいております。公共交通機関あるいは近隣の有料駐車場をご利用ください。

講座の写真撮影、ビデオ撮影、録音、録画は禁止いたします。

本学の記録用として、対面講座で写真撮影またはビデオ撮影させていただく場合がございます。

本学の記録用として、オンライン講座で録画をさせていただく場合がございます。

6. 講座の中止・休講・補講など

受講者が一定数に満たない場合、その他やむを得ない理由により開講を中止する場合がございます。

自然災害、交通機関の事情、講師の都合、その他やむを得ない事情により講座を休講とする場合がございます。その際の交通費についての補償はできません。補講の有無については別途ご案内いたします。

休講や中止となった場合は、Webサイトの「お知らせ休講情報」または「緊急のお知らせ」(情報がある場合のみトップページに掲載)にてお知らせするほか、メールなどで個別にご連絡を差し上げる場合がございます。

補講に出席できない場合でも受講料の返金はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

受講料をお支払いいただいた後に本学の判断により中止や休講となる場合、受講料の一部を返金することがあります。返金は、受講者の銀行口座への振込みのみとなります。

7. 資料

資料のみの販売はいたしません。

本学に無断で資料を複写、転載、配布、送信等二次利用することは固く禁じます。

講座によって、テキストを指定し、ご購入いただく場合がございます。

テキストを購入した講座が中止になった場合、ご自身で購入されたテキスト代についてのご請求・返金には応じられません。あらかじめご了承ください。

8. 受講資格の取消

以下のような好ましくない行為があった場合は、本学の判断により、教室からの退出、講座への出席禁止、あるいは損害の賠償を求める場合がございます。

- ・法令に違反する行為又は犯罪行為に関連する行為
- ・公序良俗に反する行為
- ・本学、他の講座受講生又は第三者に不利益、損害、不快感を与える行為
- ・本学、他の講座受講生又は第三者の知的財産権、肖像権、プライバシーの権利、名誉、その他の権利又は利益を侵害する行為
- ・反社会的勢力等への利益供与
- ・第三者になりすます行為
- ・本学の許可なく、公開講座の会場での営業、宣伝、広告、勧誘、その他営利を目的とする行為
- ・面識のない者との出会いや交際を目的とする行為
- ・公開講座の会場で他の講座受講生の情報を収集する行為
- ・宗教活動又は宗教団体への勧誘行為
- ・本学の許可なく、公開講座の内容の録音、録画その他の記録又は保存を行う行為並びに講座受講生以外に対し視聴可能にさせる行為
- ・本学のネットワーク又はシステム等に過度の負荷をかける行為
- ・本学のネットワーク又はシステム等への不正アクセス



- ・以下に該当し、又は該当すると本学が判断する情報を本学又は他の講座受講生に送信する行為
 - コンピューター・ウイルスその他の有害なコンピューター・プログラムを含む情報
 - 過度に暴力的、残虐的、猥褻な表現を含む情報
 - 差別を助長する表現を含む情報
 - 自殺、自傷行為、薬物の不適切な利用を助長する表現を含む情報
 - 反社会的な表現を含む情報
 - チェーンメール等の第三者への情報の拡散を求める情報
 - 他人に不快感を与える表現を含む情報
- ・本学教職員（外部講師を含む）、他の講座受講生へ迷惑となる行為や講義の進行を妨げる行為
- ・前述の行為を直接又は間接に惹起し、又は容易にする行為
- ・その他、本学が不適切と判断する行為

9. 個人情報の取扱い

お申し込み等において本学にご提供いただいた個人情報は、本学のプライバシーポリシーに基づき、講座申し込み後の事務連絡、統計資料等の作成および本学公開講座等のご案内に使用いたします。これらの利用目的以外には、一切使用いたしません。

<お願い>

上記とは一部異なる条件で講座を実施する場合がございます。講座の詳細につきましては、Webサイト上の各講座のページまたは各講座の案内チラシを必ずご確認ください、ご了解いただいた上でお申し込みくださいますよう、お願いいたします。

公開講座受講に関する詳細は、[生涯学習・公開講座Webサイト](#)内の各案内ページをご参照ください。

大阪公立大学 生涯学習・公開講座WebサイトURL

<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/>



会場では新型コロナウイルス感染防止対策を実施しています



l-site なんば

交通アクセス

本冊子に掲載している公開講座の会場

車両での来学はご遠慮いただいております。
公共交通機関をご利用ください。

I-siteなんば

大阪市浪速区敷津東2-1-41
南海なんば第1ビル2階

- 南海「難波駅」下車、なんばパークス方面出口より約800m
- Osaka Metro御堂筋線「なんば駅」下車、⑤出口より約1000m
- Osaka Metro堺筋線「恵美須町駅」①B出口より約450m
- Osaka Metro御堂筋線/四つ橋線「大国町駅」①出口より約450m



杉本キャンパス

大阪市住吉区杉本3-3-138

- JR阪和線「杉本町駅」下車、東口すぐ
- Osaka Metro御堂筋線「あびこ駅」下車、4号出口より南西へ徒歩約15分

中百舌鳥キャンパス

堺市中区学園町1-1

- 南海高野線「白鷺駅」下車、南西へ約500m、徒歩約7分
- 南海高野線「中百舌鳥駅」下車、南東へ約1000m、徒歩約13分
- Osaka Metro御堂筋線「なかもず駅」⑤出口から南東へ約1000m、徒歩約13分
- 南海高野線「中百舌鳥駅」・Osaka Metro御堂筋線「なかもず駅」から南海バス（北野田駅前行）で約5分、「府立大学前」下車
- JR阪和線・南海高野線「三国ヶ丘駅」から南海バス（北野田駅前行）で約14分、「府立大学前」下車



公開講座に関するお問い合わせ

■大阪公立大学 社会連携課（中百舌鳥キャンパス）

Tel 072-254-9942

Fax 072-254-6271

E-mail gr-shak-ext01@omu.ac.jp

※受付時間：月～金曜 9:00～17:30

■大阪公立大学 I-siteなんば

Tel 06-7656-0441

※受付時間：月～土曜 9:00～17:30

大阪公立大学
アクセスマップ



■お問い合わせ・チラシのご請求

大阪公立大学 社会連携課
(生涯学習センター)

〒599-8531 堺市中区学園町1番1号
大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス C5棟

Tel 072-254-9942

Fax 072-254-6271

E-mail gr-shak-ext01@omu.ac.jp

※受付時間：月～金曜 9:00～17:30

(祝日および休業日を除く)

大阪公立大学
生涯学習・公開講座
Webサイト



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

2023年2月発行